



No. 108 (平成23年7月1日)

お も な 内 容

	ページ
随 想	1
研修講座寸描	2
研究室だより	4
研究協力校の紹介	5
研究会のご案内	6
教育講演会のご案内	7
出前講座のご活用を	7
心に残る授業 その63	8
人事短信	8
研修センターあれこれQ & A	9
お知らせ・ご案内	10

毎年1年生を対象に行う「交通安全青空教室」。
室内での交通ルールやマナーのお話を聞き終
え、いよいよ歩道の正しい歩き方や横断時の心
得について校地周辺での確認に出発します。
(旭川市立高台小学校)



真の「生きる力」

上川教育研修センター

所長 相澤 政義

三月十一日、午後二時四十六分に発生した未曾有の大地震とそれに伴う大津波。テレビから流れる映像に、自分の目を疑い、夢であってほしいと祈るばかりであった。それから三か月以上の時間が経ち、復旧・復興への前向きな姿が、少しずつ見え始めてきた。

いま 生きて いること

一生懸命 生きること

なんて なんて すばらしい

あすという日が あるかぎり

しあわせを信じて

あすという日が あるかぎり

しあわせを信じて

これは、震災後の三月十九日、仙台市立八軒中学校吹奏楽・合唱部の生徒達が避難所となつていける体育館において、被災された方々を招待して開かれたコンサートの中で歌った「あすという日が」という曲の一節である。家族、友人を失い、家を流されてしまった多くの被災者や大変な状況にいる多くの方々に未来への希望と新たな光を見いだす勇気を与える子ども達の豊かな心の合唱である。

この四月から小学校では、新しい学習指導要領の下で、教育活動が展開されて

いる。確かに、これからの社会において、次代を担う子ども達にとって必要となるものは、「生きる力」である。それを支えるのは、知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育成することに他ならない。各学校において、その基本理念に基づき、「確かな学力」の定着に向けた教育を推進していると思うが、自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心など「豊かな心」の育成も求められている。被災地からは、小学生が「肩もみ隊」としてお年寄りの心を癒したり、中学生が復興のための植樹をしたり、高校生が公園の汚泥除去をしたりするなど、自分達にできる活動を通して社会の一員として生きる姿が報道され、多くの感動と勇気を与えている。

私たちは、被災地域の子ども達、学校教職員が困難に立ち向かおうとする姿に思いを馳せながら、上川・旭川の子ども達が「確かな学力」と「豊かな心」を兼ね備えた真の「生きる力」を身に付けるため、教師として、人間として、研鑽に励みたいものである。



学校の周りのプランターと花壇にたくさんのお花を飾っています。全道の「花いっぱい」コンクールにも応募しています。
(中富良野町立中富良野中学校)

センター 日誌

4月4日 新任所員就任
4月13日 研修講座講師委嘱状交付式
4月22日 講座内容研究協議会
4月26日 講座受講申込一次締切
5月16日 パソコン講座運営委員会
6月3日 研修講座開始(学校経営Ⅰ)
7月1日 パソコン講座開始(表計算)
7月1日 センターだより第108号発行
※毎週火曜日 定例研究室会議

研修講座寸描

委嘱状交付式、
講座内容研究協議会

「試そう上川の力で、創ろう上川の力で、生かさう上川の力を」を合い言葉に、今年度の研修講座の取組が始まりました。

四月十三日午後、二階講堂に講座を担当する講師が集まり、委嘱状交付式が行われました。今年度は、三十四講座、八十六名の教職員が講師に委嘱され、上川教育局、旭川市教育委員会の方々が見守る中、代表として宮下 敏 富良野小学校長が上川教育研修センター組合 教

育委員会 小池語朗教育長より委嘱状を受け取りました。

その後、講座ごとに分かれ、内容や日程について熱心に協議を行いました。

今年度は、第十三次三か年計画の最終年次にあたり、二年次までの流れを踏まえ、今年度にも、「確かな学力」と「豊かな心」の育成に向けた教育の充実、そして、上川管内教職員の指導力向上のため講座内容が吟味されました。

1 学校経営 I 5/16・17



2日目午後分科会の様子



菅沼上川教育局長ご挨拶



中央総合会計事務所 井内代表による講話では、与えられた環境をどう活かすかが経営者の力であるという言葉に感銘を受けました。教育課程の適切な編成、教職員の服務、危機管理等、実践的で有意義な研修を受けることができたことに感謝いたします。

(旭川市立神居東中学校 岩田 俊二)

講座の様子から

2 学校事務実務 5/18・19



教職員事務センター佐藤講師による講義「手当認定事務等について」

2つの分散会に分かれ、提言をもとに行われた研究協議



事務職員の役割、職務の明示と事務の評価、手当認定事務等についての三つの講座、実践にかかわる提言を受けての各市町村の実態を踏まえた研究協議等、学校事務における今日的課題を解決していく上で大変有意義な二日間の研修でした。

(南富良野町立南富良野中学校 高橋 秀人)

道特別支援教育センター
奥田講師による講義

特別支援教育① 5/18

この研修に参加し、以下のことを学びました。子どもの成長をのぞむのに大切なことは、よく観察すること、背景を探ること、成功体験を与えること、段階を踏んだ目標を設定することだということです。これらを実践できるように尽力します。

(名寄市立名寄南小学校 星野亜由美)

子供の抱える困難さの背景のとりえ方、かかわり方について多くの実践が紹介されました。

4 動物たちと行動展示 5/25

屋内飼育舎の様子を見て動物からのメッセージを読みとる



講師の方の実体験に基づく説得力のあるお話を聞くことができ、大変勉強になりました。家族関係や環境問題といった身近な問題に意識を向けることができ、授業にも生かしていきたいと思っています。ありがとうございます。

(旭川市立明星中学校 村田 敏幸)



飼育員の手作りによる道具を紹介する佐賀講師

2日目午後に行われた分科会



5 学校経営Ⅱ 5/25・26



月居上川教育局次長ご挨拶

教頭としての使命感、人間性指導力の向上のために必要なことは何か、焦点化された講義内容でした。学校教育目標の具現化に向け、自己の職責を熱意と誠意をもって果たすことを再確認でき、大変有意義な時間となりました。

(東神楽町立忠栄小学校 山川美千代)

6 保健安全指導 6/1

子供の抱える困難や問題の背景を多面的にとらえ、その子に合った働きかけや環境、授業スタイル、集団作りがあることを理解しました。午後の提案授業では、困り感をもつ子供に担任、そして学級集団がどのようにかわるべきか深く考えさせられました。

(旭川市立神楽岡小学校 児玉 郁子)



研究協議「子供の抱える困難や問題」その背景は？



細かな指示に重点を置き、子供に寄り添った指導を心がけた研究授業



今、研究室では…

上川教育研修センター 第15次研究のスタート

本研究では、基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、思考力・判断力・表現力等をはぐくみながら、主体的に課題を解決することができる児童生徒の育成を目指しています。本年度は、第15次研究の1年次として、研究協力校と所員の実践を踏まえた理論検証を行い、研究の構築を図りたいと考えています。

研 究 主 題

学力の確実な育成を図る指導と評価の在り方 ～目標達成に向けた授業構築～

求める児童生徒像

基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、思考力・判断力・表現力等をはぐくみながら、主体的に課題を解決することができる児童生徒

研究の仮説

学習指導において、1単位時間の目標を具体的に設定し、指導計画に位置付けるとともに、目標達成に向けた手立てを工夫し、その達成状況を計画的に評価しながら、目標・指導・評価の一体化を図ることにより、基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、思考力・判断力・表現力等をはぐくみながら、主体的に課題を解決する児童生徒を育成することができるであろう。

研究内容**【研究内容1】****指導計画の工夫**

- ・ 問題解決的な学習過程を基盤とした指導計画の在り方
- ・ 1単位時間の目標の具体化及び、指導内容の明確化

【研究内容2】**授業展開の工夫**

- ・ 目標達成につながる学習課題(学習問題)の設定及び、学習内容の提示
- ・ 思考を促し、深める発問・指示の工夫
- ・ 学習の流れが分かる板書の工夫
- ・ 目標達成につながる言語活動の設定

【研究内容3】**学習評価の工夫**

- ・ 児童生徒の実態を把握する診断的評価の在り方
- ・ 指導に生かす形成的評価の在り方
- ・ 単元の目標達成状況を把握する総括的評価の在り方

知識・技能の習得，思考力・判断力・表現力等の育成
主体的に学習に取り組む態度(学習意欲)

平成23年度「研究協力校の紹介」

旭川市立知新小学校

（研究主題）

『自ら学び、考え、高め合う子どもの育成』

一 研究の重点

ねらいを明確にした指導計画の作成や個に応じた指導・評価のあり方等を通常の学級と特別支援学級における授業を通して検証し、目指す子ども像の実現を図る。

二 研究の内容

○言語活動を適切に位置付けた指導計画の作成

○音読や文章解釈の力を育成する指導の工夫

○特別支援教育における個に応じた指導と評価の工夫

三 研究計画

4～6月 研究内容の共通理解

7月 実践研究発表会

8～10月 研究授業の構想（各ブロック）

11月 研究授業週間①

2月 研究授業週間②

3月 研究のまとめ



旭川市立正和小学校

（研究主題）

『意欲的に学び、追究し合う子どもの育成』

算数科における活用型学力を

はぐくむ授業の創造

一 研究の重点

算数科における既習の知識・技能や考え方を活用し、新たな問題や児童の実生活にかかわる問題について解決していく力を身につけさせる。そのため、三つの視点に絞り、研究を進めていく。

二 研究の内容

○課題提示の工夫

○交流場面の工夫

○振り返りの工夫

三 研究の計画

4～6月 研究の構想

7月 校内授業研究①（ブロック研）

8～10月 校内授業研究②（ブロック研）

11月 校内授業研究（全校研）

12～3月 研究のまとめ

次年度に向けて



旭川市立緑が丘小学校

（研究主題）

『主体的に学び互いに高め合う子どもの育成』

豊かな自己表現し学びを

深める授業づくり

一 研究の重点

表現活動や言語活動を通して、自己の考えを生き生きと表現することを基盤とし、「学び合い」を指導過程に効果的に位置づけ、自己の考えを深めると共に、課題解決の力を伸ばすことを目指す。

二 研究の内容

○身に付けさせたい力の明確化

○学び合いの工夫

・表現活動や言語活動の吟味

・学び合う手立て

○評価活動の工夫

三 研究計画

4～5月 研究の構想・理論

6～7月 研究

8～12月 授業の具体的構想

1～3月 授業研究

次年度の方向性



当麻町立当麻小学校

（研究主題）

『伝え、高め合う授業づくり』

生活科・理科での言語活動の充実を基盤として

一 研究の重点

言語活動を積極的に取り入れた指導法の改善を図り、子供一人一人が主体的に考え、表現し、交流し合える授業を展開することで、思考力、判断力、表現力の育成を図ることを目指す。

二 研究の内容

○事象との出会い、根拠ある予想や仮説作りの工夫

○活動を振り返る場、予想や仮説に振り返らせる場の工夫

○気付きを比較する場、交流の場の工夫

三 研究計画

4～7月 理論研修とブロックごとに指導案検討、授業公開

8～10月 理論修正とブロックごとに指導案検討、授業公開

11月 研究授業

12～3月 研究のまとめ、次年度の方向性



旭川市立愛宕中学校

（研究主題）

『学び合う表現力』をはぐくむ学習指導の在り方

一 研究の重点

生徒同士の豊かな「学び合い」を一層深めるための教師による様々な働きかけを工夫し、効果的な言語活動を活性化させる活動を通して、各教科の特性を生かした「表現力」をはぐくむ学習指導の充実を図る。

二 研究の内容

○生徒の実態把握に基づく指導方法の工夫

○問題解決的な学習過程を基盤とした授業展開の工夫

○指導に生きた学習評価の工夫

三 研究計画

4～7月 新研究主題の提示

8～9月 生徒理解による生徒の実態把握、各教科の中間報告と全体交流

10～11月 各教科部会での結果交流と校内授業参観週間にかかわる研修

12～3月 本年度の研究と反

省、次年度の方向性



研究会のご案内

今年度も管内で多くの研究会が行われます。主に2学期開催が中心となりますが、多くの研究授業や実践に触れて、校内研修の活発化や指導力の向上にお役立てください。研究会の詳細や申込については、各校に送付されている要項をご覧になるか、当該校へ直接お問い合わせください。

	大会名	教科等	会場	開催期日
全国	第60回全国へき地教育研究大会北海道大会 兼第60回全道へき地複式教育研究大会上川大会		旭川市立旭川第5小学校 旭川市立桜岡中学校 上川管内7市町村9会場	10月13日(木) 10月14日(金)
全道	第54回北海道中学校長会研究大会旭川大会		旭川市大雪クリスタルホール	9月30日(金) 10月1日(土)
	第32回北海道国際理解教育研究大会 上川旭川大会	国際理解教育	旭川藤女子高等学校 旭川藤幼稚園	10月7日(金) 10月8日(土)
	第66回北海道算数数学教育研究大会 上川・旭川大会	算数・数学	旭川市立近文小学校 旭川市立永山中学校 旭川市大雪クリスタルホール	10月20日(木) 10月21日(金)
	第39回北海道特別活動研究大会上川・旭川大会	特別活動	旭川市立愛宕東小学校	10月28日(金)
	第49回北海道小学校家庭科教育研究大会	家庭科	旭川市立大町小学校	11月18日(金)
	上教研北部地区研究大会	全教科, 領域	名寄市, 下川町11会場	10月5日(水)
	上教研中部地区研究大会	全教科, 領域	東神楽町, 東川町, 美瑛町8会場	10月6日(木)
	上教研南部地区研究大会	全教科, 領域	上富良野町, 中富良野町8会場	10月4日(火)
	知新小実践研究発表会	国語, 情緒	旭川市立知新小学校	7月8日(金)
	第44回大有小教育実践研究発表大会	国語・算数	旭川市立大有小学校	9月16日(金)
上川管内・旭川市	東五条小実践研究発表会	道徳	旭川市立東五条小学校	9月16日(金)
	大町小実践研究発表会	算数	旭川市立大町小学校	9月22日(木)
	高台小教育実践発表会	国語	旭川市立高台小学校	10月4日(火)
	豊岡小地域公開授業	算数	旭川市立豊岡小学校	11月2日(水)
	第19回青雲小教育実践研究発表会	算数	旭川市立青雲小学校	11月2日(水)
	春光小公開研究会	道徳	旭川市立春光小学校	11月2日(水)
	新町小実践発表会	算数	旭川市立新町小学校	11月10日(木)
	「朝日の教育」実践発表会	国語	旭川市立朝日小学校	11月11日(金)
	新富小教育実践発表会	国語(説明文)	旭川市立新富小学校	11月11日(金)
	永山小公開研究会	国語	旭川市立永山小学校	11月17日(木)
	神楽小教育実践研究発表会	国語	旭川市立神楽小学校	11月17日(木)
	台場小教育実践発表会	生, 総, 道, 特	旭川市立台場小学校	11月18日(金)
	北光小実践研究発表会	小学校外国語活動	旭川市立北光小学校	11月18日(金)
	東町小「授業を考える会」	算数	旭川市立東町小学校	11月22日(火)
	雨紛小地域公開研究会	道徳	旭川市立雨紛小学校	11月22日(火)
	日章小実践研究発表会	国語	旭川市立日章小学校	11月25日(金)
	旭川小開校120周年記念教育実践発表会	国語	旭川市立旭川小学校	11月25日(金)

教育学博士

大阪大学 人間科学研究科

教授 小野田 正利 氏

《講師略歴》

専門は教育制度学、学校経営学。フランスの教育制度に関する「教育参加と民主制」の研究で、日本教育経営学会賞（1997年）を受賞している。

「学校現場に元気と活力を！」をスローガンとして、現場に密着した研究活動を展開。モンスターペアレント、学校への親のイチャモンなど、学校現場で深刻な問題を取り上げ、多くの共感を呼んでいる。

教育講演会のご案内

演 題
「モンスターペアレンツ論を超えて
～保護者と向き合う気持ちと
教職員の共同性」

期 日 9月6日 (火)
受付 13:00～
講演 13:30～

会 場 上川教育研修センター

講 師 小野田 正利 氏

保護者との対応で不安を感じた。円滑で温かな信頼関係を築きたい。と思う先生方の心に響くワークショップ型の講演会です。保護者からの苦情への対応から、「子供のために手をつなぐ」方策や打開策についてご講演いただきます。ぜひ、ご参加ください。

(本人プロフィールより抜粋)

真実は現場に「地をはう」活動
比較のためにフランスの学校と教育の研究をちよつとだけやりつつ、日本の学校と教職員の「等身大の姿」を明らかにすることを自分のライフワークとしています。『片小ナビ』保護者のための片山小学校ガイドブック』づくり、学校讃歌ブックレットシリーズの発行、イチャモンの研究など、阪大の教育制度学研究室は、「どろをさらい、地をはう路線」を追求しています。

主な著書

- 『教育参加と民主制
—フランスにおける教育審議機関に関する研究』 風間書房、1996年
- 『悲鳴をあげる学校
—親の“イチャモン”から“結びあい”へ』 旬報社、2006年
- 『親はモンスターじゃない！
—イチャモンはつながるチャンスだ』 学事出版、2008年
- 『イチャモン研究会
—学校と保護者のいい関係づくりへ』 ミネルヴァ書房、2009年
- 『イチャモンどんとこい！
～保護者といい関係をつくるためのワークショップ』 学事出版、2009年
- 『ストップ！自子チュー
～親と教師がつながる』 旬報社、2010年

資料室もあります
センター三階の図書室には全国の研究所や研修センターから届く第二研究紀要が保管されています。また、一階第二研究紀要には、過去の研修講座の資料が講座ごとに保管されています。講師が何度も打合せを重ねて作り上げた講義・演習資料、そして、学習指導案をぜひ、ご活用ください。

こんな場面はありませんか？

- ・校内での研究が思うように進まない。
- ・新しい指導法や指導の工夫を見出したい。
- ・研修センターの研究について説明してほしい。
- ・子供や保護者への対応で行き詰まっている。
- ・実技などの指導方法をさらに増やしたい。



出前講座の出番です

目標や課題、そして、次のステップが見えてきます。そして、校内研修全体のレベルアップが期待できます。

校内研修に

出前講座のご活用を

先生方がセンターに足を運んで受講するスタイルとは違い、出前講座は、直接、要請があった学校に講師が赴き、九十分程度の講義や演習を行います。講座内容も、国語や算数などの教科指導をはじめ、特別支援教育、生徒指導など、各校のニーズに応えるよう努力しています。また、講師は、小中学校の教職員をはじめ、大学教授や各教育機関など、深い実践や専門的な知識のある方々に依頼しています。

出前講座を年間の研修計画に位置付けている学校もあります。また、急ぎよ、校内で学習会を開くことになり、連絡をいただく場合もあります。校内で進めている研究、校内でつかるようお手伝いをさせていただき、ご連絡をお待ちしています。

さまざまなアクティビティの紹介・演習



出前講座『小学校外国語活動』 名寄東小 5/23

講話の中で外国語活動の在り方を具体的に示していただきました。アクティビティの紹介では、わかりやすく、楽しく、実践的なものばかりで、子供達の意欲をかきたてての活動を学ぶことができました。ご指導ありがとうございました。
(名寄市立名寄東小学校 大島 慎吾)



校内研修の中で講師による説明を受けている様子

心に残る授業

その63



旭川市教育委員会
教育指導課主査
青山 天 生

中学校社会科公民的分野の授業「現代日本のあゆみと私たちの生活」を観る機会がありました。

学習課題は「現代社会の特色を追究し、時代はどこに向かっているのか明らかにしよう。」、単元構成の概要は次のとおりです。

- ①自分が生まれた頃や保護者が生まれた頃と現在とを比べて、変化してきたことは何か予想を立てる。
 - ②予想を発表し、共通点を見出してグループピングを行う。
 - ③各追究グループで自己課題を設定し、調べ活動を行う。
 - ④各グループで討論を行い、現代社会を映すキャッチフレーズをつくる。
 - ⑤全体で発表会を行い、どのグループのキャッチフレーズが現代社会の特色をよく表しているのか討論する。
 - ⑥学習成果をレポートにまとめる。
- 参観したのは⑤の場面でした。あるグループ代表の生徒が発表しました。

「私たちが考えたキャッチフレーズは『今、時代は国際化、あなたなしでは生きられない』です。なぜなら、グラフに示したように在日外国人や海外への渡航者など人的交流が盛んになっているからです。たとえば、旭川でも外国人を多く見かけるようになったし、私のいとこはアメリカに留学した経験があります。

私の父親は以前には考えられないことだと話していました。つまり、我が国では外国とのかかわりなしには生きられない国際化が一層進んでいると考えました。」すかさず質問です。「それだけで国際化だと言えるの？ほかにはないの？」すると同じグループの生徒が、我が国の資源・エネルギーの海外依存や国際貢献の現状について発表しました。また、他のグループも「情報化と技術革新のグループの発表内容につながると思うけど…」と手元の資料を片手に自信をもって発表し、白熱した討論を展開していききました。

社会科が重視しているのは、協働思考を伴う問題解決です。空理空論の飛び交う言葉遊びではなく、根拠と根拠で説得・納得し合い、さらに新しい根拠を手に入れていこうとする学びです。研究協議では、授業の事実を根拠にしながら、手法の有効性はもとより、学習目標の妥当性について侃々諤々した記憶があります。

人事短信

平成二十三年年度就任・退任研修センター所員を紹介します。

就 任



研究事業部長 玉井 一行
(旭川市立新富小)

広く活用していただける、分かりやすく役に立つ研究を目指して努力して参ります。どうぞ、よろしく願いいたします。



指導員 伊藤 文江
(旭川市立聖園中)

実り多い講座となりました。すよう微力ではございますが、精一杯努力いたします。どうぞ、よろしく願いいたします。



指導員 吉野 法行
(旭川市立光陽中)

PC実技講座を主に担当させていただきます。日常に生かせる講座になるよう頑張ります。よろしく願いいたします。

研究員 北川 真美
(旭川市立神楽小)



出会いを大切に、微力ではございますが、精一杯研究に努力して参りたいと思います。よろしく願いいたします。



研究員 小野 義幸
(東神楽町立東聖小)

上川の教育推進を目標に各学校の研究に活用していただけるよう微力を尽くして参ります。よろしく願いいたします。

退 任

お世話になりました

○前研究事業部長 樋口 雅 裕
(旭川市立緑新小)

○前指導員 宮 寄 智
(旭川市立東光中)

○前指導員 山口 有 士
(旭川市立春光小)

○前研究員 長 瀬 剛 仁
(旭川市立近文小)

○前研究員 善 方 幸
(当麻町立当麻小)

Q9

ときどき駐車場にとめられないときがあります。

みなさんの研修センターなのですが、一般の方や企業の方々も会議等で利用しています。今の駐車スペースでは50台が限界です。入口に赤いコーンが並んでいましたら満車です。申し訳ありませんが、近隣の駐車場をご利用いただくか、徒歩での来所をお願いいたします。

Q10

夏休みや冬休みに講座はありますか？

講座終了後にご回答いただくアンケートから、長期休業での講座開催の要望が多いことがわかりました。そのため、各教科指導の研修講座の開催時期を主に夏期休業中に設定しています。複数受講など、集中的に研修に励むことも可能です。

Q1

いつ開所しましたか？

上川管内教職員の資質向上を図るために、昭和42年に発起人会が発足したのが始まりです。その後、建設用地として昭和46年に今の場所(旧西高跡地)が内定し、昭和48年7月に道内4番目となる教育研修センターが誕生しました。

Q8

資料室にはどんな書籍がありますか？

3階に図書室があります。道内外の研究所刊行物や過去の研究会資料が所せましと並んでいます。また、1階第2研修室には、過去の研修講座の資料があります。指導案等、たいへん参考になりますのでご活用ください。

上川教育 研修センター



Q2

研修センターは、どのように運営されていますか？

例年、センターだよりにも掲載しておりますが、「上川教育研修センター組合」という組織があります。上川管内各市町村長、教育委員会、議会などからなり、組合長は西川将人旭川市長です。研修センターの運営改善をねらいとして、センター運営協議会も開かれています。

あれこれQ&A

Q7

いろいろな教科の研究授業を参観したいと思っています。

教科指導をはじめ、道徳、特活など、ほとんどの講座に研究授業の参観が盛り込まれています。講師の先生方が作り上げた指導案もあれば、講座の1日目に指導案を作る場合もあります。また、「研究会のご案内」のように、多くの小中学校で研究授業が公開されます。ぜひ、ご参加ください。

おかげさまで、皆様に愛され続け、毎年千人を超える受講者が集う研修センター。今回は、当研修センターにかかわる質問に、山下副所長が優しくお答えします。どうぞ、センターへのご理解をより一層深め、有効にご活用ください。



Q3

研修センターには何人勤務していますか？

玄関右手にある事務室には、事務部長、副所長、事務係2名の4名が常駐しています。また、玄関左手には所長室があります。指導員4名と研究部長および研究員6名は、通常は小中学校に勤務しながら、研究・研修事業に携わっています。

Q6

過去にどんな講座がありましたか？

教科指導については、開所当時から38年間途絶えることなく研修講座が行われています。中には時代を反映した講座もあり、下記のような講座も行われていました。

幼稚園教育 (S49)、水泳実技 (S51)、性教育研究 (S52)、就学指導検査実技 (S54)、視聴覚機器利用 (S55)、英語LL学習指導法 (S56)

Q5

年間どのくらいの講座を開催していますか？

今年度は、34の研修講座にパソコン講座(6)と出前講座を行います。開所当時は32講座ありました。昭和52年の24講座と少ない時もあれば、平成16年の48講座という時もあります。いつの時代も学校や教師のニーズに応じた講座開催に努力しています。

Q4

研修センターの施設について教えてください。

開所当時は、遠方からの受講者のために宿泊施設を10部屋設けていました。当時は、夜間も研修に勤しんでいたようです。現在も3階に6部屋ありますが、観光や出張で訪れる方の利用が多いようです。

先生方の宿泊、大歓迎です。

夏季休業中に開催する研修講座

4月から受講者を募っておりますが、随時申込を受け付けております。講座によっては大幅に予定人数を超えているものもありますので、希望される場合は研修センターにご連絡ください。

上川管内・旭川市内の小中学校で活躍されている先生や大学教授の方々が講師となり、実践に役立つ理論や指導法について講義が行われます。これらの講座をもとにして、2学期は小中学校で研究授業が行われます。

TEL 0166-24-2501

開催期日	研修講座名	会 場	備 考
7月25日（月）	国語科指導	研修センター	2回目9月2日（金）
7月26日（火）	社会科指導	研修センター	2回目8月31日（水）
7月27日（水）	算数・数学科指導	研修センター	2回目9月7日（水）
7月28日（木）	理科指導	研修センター	2回目9月7日（水）
7月29日（金）	外国語科（英語）指導	研修センター	2回目9月8日（木）
8月1日（月）	技術・家庭科実技	旭川市立光陽中学校	
8月1日（月）	体育科実技	旭川市立北星中学校	
8月3日（水）	国際理解教育	研修センター	
8月3日（水）	道德教育	研修センター	2回目9月28日（水）
8月4日（木）	図工・美術科実技	旭川市立東光中学校	
8月4日（木）	生徒指導	研修センター	2回目9月29日（木）
～夏休み終了直後に行われる研修講座～			
8月24日（水）	音楽科実技	旭川市立西御料地小学校	
8月24日（水）	書写実技	旭川市立永山南小学校	



ギャラリー闖（セン）ご利用ください

研修センター1階奥の第2研修室の壁面をギャラリー（作品等展示場）として開放しています。研修センターには、毎日、一般の人も含めて多くの方々が訪れております。ぜひ、実践発表の場として活用してみたいはいかがでしょうか。

～たとえば～

- ・ご自身の実践（写真、絵画、書など）
 - ・学級や学校での実践（作品、研究など）
 - ・研究サークルの実践公開の場
 - ・上川管内の学校、教職員に広く発信したいもの
- お気軽にお問い合わせください。



コンクールで受賞した優れた作品



「書に親しもう」講座で書いた作品

※この用紙は再生紙（古紙70%）を使用しています。

発行日 平成二十三年七月一日
 発行所 上川教育研修センター
 〒070-0036 旭川市六条通四丁目
 電話（0166）24-2501
 東信印刷株式会社
 責任者 相澤政義
 印刷所